

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年4月6日(2017.4.6)

【公開番号】特開2015-142702(P2015-142702A)

【公開日】平成27年8月6日(2015.8.6)

【年通号数】公開・登録公報2015-050

【出願番号】特願2014-74851(P2014-74851)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 6 A

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月28日(2017.2.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が入球可能な入球手段と、

その入球手段へと遊技球が入球し易い第1位置と、その第1位置よりも遊技球が入球し難い第2位置とに可変可能な可変手段と、

その可変手段の可変動作を制御する可変制御手段と、

予め定められた特定条件の成立に基づいて、前記可変制御手段によって少なくとも所定期間、可変手段が前記第1位置に可変した状態となるように制御される特典遊技を実行する特典遊技実行手段と、を備えた遊技機において、

前記特典遊技の種別として、前記可変手段が第1の可変パターンで可変動作するように制御される第1特典遊技と、前記第1の可変パターンとは異なる第2の可変パターンで可変動作するように制御される第2特典遊技と、を少なくとも含む複数の種別の中から1の種別を決定する種別決定手段と、

前記入球手段へと入球した遊技球が入球可能な第1領域と、

その第1領域へと遊技球が入球した場合に比べて、遊技球が入球した場合に遊技者にとって有利となる第2領域と、

前記入球手段へと入球した遊技球が進行する流路を、第1流路、またはその第1流路よりも前記第2領域へと遊技球が進行しやすい第2流路へと振り分ける振分手段と、

その振分手段の状態として、遊技球が前記第1流路へと振り分けられる状態である第1状態と、前記第2流路へと振り分けられる状態である第2状態とを、前記特定条件の成立に基づいて設定される、予め定められた特定の切替パターンに応じて切り替える振分状態切替手段と、

前記特定条件が成立していない状態において、前記振分手段の状態を前記第1状態とする手段と、を備え、

前記第1の可変パターンは、前記第2の可変パターンよりも、前記振分手段が前記第2状態に切り替えられている間に前記振分手段へと遊技球を到達させることが困難となるものであることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記入球手段は、遊技者が視認可能な位置に配置されているものであることを特徴とす

る請求項 1 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

パチンコ機等の遊技機には、始動入賞口への遊技球の入賞に基づいて当たりとなるか否かを抽選し、遊技者の遊技に対する興趣の向上を図っているものがある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかしながら、さらに遊技の興趣向上が求められていた。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、遊技の興趣を向上することができる遊技機を提供することを目的としている。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

この目的を達成するために請求項 1 記載の遊技機は、遊技球が入球可能な入球手段と、その入球手段へと遊技球が入球し易い第 1 位置と、その第 1 位置よりも遊技球が入球し難い第 2 位置とに可変可能な可変手段と、その可変手段の可変動作を制御する可変制御手段と、予め定められた特定条件の成立に基づいて、前記可変制御手段によって少なくとも所定期間、可変手段が前記第 1 位置に可変した状態となるように制御される特典遊技を実行する特典遊技実行手段と、を備えたものであり、前記特典遊技の種別として、前記可変手段が第 1 の可変パターンで可変動作するように制御される第 1 特典遊技と、前記第 1 の可変パターンとは異なる第 2 の可変パターンで可変動作するように制御される第 2 特典遊技と、を少なくとも含む複数の種別の中から 1 の種別を決定する種別決定手段と、前記入球手段へと入球した遊技球が入球可能な第 1 領域と、その第 1 領域へと遊技球が入球した場合に比べて、遊技球が入球した場合に遊技者にとって有利となる第 2 領域と、前記入球手段へと入球した遊技球が進行する流路を、第 1 流路、またはその第 1 流路よりも前記第 2 領域へと遊技球が進行しやすい第 2 流路へと振り分ける振分手段と、その振分手段の状態として、遊技球が前記第 1 流路へと振り分けられる状態である第 1 状態と、前記第 2 流路へと振り分けられる状態である第 2 状態とを、前記特定条件の成立に基づいて設定される

、予め定められた特定の切替パターンに応じて切り替える振分状態切替手段と、前記特定条件が成立していない状態において、前記振分手段の状態を前記第1状態とさせる手段と、を備え、前記第1の可変パターンは、前記第2の可変パターンよりも、前記振分手段が前記第2状態に切り替えられている間に前記振分手段へと遊技球を到達させることが困難となるものである。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項2記載の遊技機は、請求項1記載の遊技機において、前記入球手段は、遊技者が視認可能な位置に配置されているものである。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の遊技機によれば、遊技球が入球可能な入球手段と、その入球手段へと遊技球が入球し易い第1位置と、その第1位置よりも遊技球が入球し難い第2位置とに可変可能な可変手段と、その可変手段の可変動作を制御する可変制御手段と、予め定められた特定条件の成立に基づいて、前記可変制御手段によって少なくとも所定期間、可変手段が前記第1位置に可変した状態となるように制御される特典遊技を実行する特典遊技実行手段と、を備えたものであり、前記特典遊技の種別として、前記可変手段が第1の可変パターンで可変動作するように制御される第1特典遊技と、前記第1の可変パターンとは異なる第2の可変パターンで可変動作するように制御される第2特典遊技と、を少なくとも含む複数の種別の中から1の種別を決定する種別決定手段と、前記入球手段へと入球した遊技球が入球可能な第1領域と、その第1領域へと遊技球が入球した場合に比べて、遊技球が入球した場合に遊技者にとって有利となる第2領域と、前記入球手段へと入球した遊技球が進行する流路を、第1流路、またはその第1流路よりも前記第2領域へと遊技球が進行しやすい第2流路へと振り分ける振分手段と、その振分手段の状態として、遊技球が前記第1流路へと振り分けられる状態である第1状態と、前記第2流路へと振り分けられる状態である第2状態とを、前記特定条件の成立に基づいて設定される、予め定められた特定の切替パターンに応じて切り替える振分状態切替手段と、前記特定条件が成立していない状態において、前記振分手段の状態を前記第1状態とさせる手段と、を備え、前記第1の可変パターンは、前記第2の可変パターンよりも、前記振分手段が前記第2状態に切り替えられている間に前記振分手段へと遊技球を到達させすることが困難となるものである。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

これにより、遊技の興趣を向上することができるという効果がある。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1156

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1156】

本技術的思想は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、遊技者に対して不安感を抱かせることを抑制することができる遊技機を提供することを目的としている。

<その他2>

パチンコ機等の遊技機には、始動入賞口への遊技球の入賞に基づいて大当たりとなるか否かを抽選し、確率変動状態へと移行するか否かについては大当たり中に別途抽選するものがある。これにより、大当たりが出球を多く得るための単なる作業となることを抑制し、確率変動状態へ移行することに対する期待感を持って大当たり中の遊技を行わせ、遊技者の遊技に対する興趣の向上を図っている。

上記した遊技機の中には、確率変動状態の抽選を行う場合にのみ遊技球の進入が可能となる所定領域に遊技球が通過可能な複数のルートが設けられているものがある。この遊技機では、所定領域に設けられた複数のルートのうち、遊技球がいずれのルートに振り分けられたかに応じて、大当たり終了後に確率変動状態となるか否かを決定する（例えば、特許文献1：特開2003-180999号公報）。

しかしながら、かかる遊技機において、今回の大当たり後に確率変動状態へと移行させるか否かを抽選することはできても、次回の大当たり後に確率変動状態へと移行することまでをも確定させることはできなかった。これにより、大当たりの度に、遊技者に対して確率変動状態の抽選に漏れてしまうのではないか、といった不安感を抱かせることとなり、大当たりに当選しても遊技者の気が休まらないという問題点があった。

本技術的思想は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、大当たりの度に遊技者に対して不安感を抱かせることを抑制できる遊技機を提供することを目的としている。

<手段>

この目的を達成するために技術的思考1の遊技機は、遊技球が入球可能な入球口と、その入球口へ入球した遊技球が入球可能な第1領域および第2領域と、その第1領域および第2領域のどちらか一方へ前記入球口に入球した遊技球を振り分ける振分手段とを備え、前記第1領域へ遊技球が入球したことに基づいて、前記第2領域へ遊技球が入球した場合よりも遊技者に有利な特別遊技状態へと移行するものであり、前記振分手段は、遊技球が通過可能な複数の流路と、前記第1領域へと遊技球を振り分け可能な状態である第1状態

と、前記第1領域、または前記第2領域へと遊技球を振り分け可能な状態である第2状態とに可変させることができ可能な可変手段とを備え、その可変手段は、前記複数の流路のうち、一部の流路を遊技球が通過したことに基づいて第1状態と第2状態とを可変せるものである。

技術的・思想2の遊技機は、技術的・思想1記載の遊技機において、前記複数の流路は、前記第1状態である場合に、遊技球が通過可能とされる第1流路と第2流路と、前記第2状態である場合に、遊技球が通過可能とされる第3流路と第4流路とで構成されているものであり、前記可変手段は、前記第2流路を遊技球が通過した場合に、前記第1状態から前記第2状態へと前記振分手段を可変させ、前記第3流路を遊技球が通過した場合に、前記第2状態から前記第1状態へと前記振分手段を可変せるものである。

技術的・思想3の遊技機は、技術的・思想2記載の遊技機において、前記第1流路、または第4流路を遊技球が通過した場合に前記振分手段が可変することを抑制する可変抑制手段を備える。

<効果>

技術的・思想1記載の遊技機によれば、振分手段が、可変手段により、第1領域へと遊技球を振り分け可能な状態である第1状態と、第1領域、または第2領域へと遊技球を振り分け可能な状態である第2状態とに可変される。遊技球が通過可能な複数の流路のうち、一部の流路を遊技球が通過したことに基づいて、可変手段により第1状態と第2状態とが可変される。

これにより、振分手段の状態に基づいて、次の振り分けにおいて第1領域へと遊技球が入球するか否かを遊技者に認識させることができる。よって、振分手段が第1状態へと可変されてから、次に振分手段によって振り分けが行われるまでの間、遊技者に対し、特別遊技状態へと移行することに対する安心感を抱かせることができる。従って、遊技者に対して不安感を抱かせることを抑制できるという効果がある。

技術的・思想2記載の遊技機によれば、技術的・思想1記載の遊技機の奏する効果に加え、次の効果を奏する。即ち、第1状態である場合に、第1流路と第2流路とを遊技球が通過可能とされ、第2状態である場合に、第3流路と第4流路とを遊技球が通過可能とされる。第2流路を遊技球が通過した場合に、可変手段により第1状態から第2状態へと振分手段が可変され、第3流路を遊技球が通過した場合に、可変手段により第2状態から第1状態へと振分手段が可変される。

これにより、複数の流路のうちいずれの流路を遊技球が通過するかに応じて振分手段の状態を変更させることができ、次回に振分手段に到達する遊技球が通過する流路が変更されるので、振分手段の状態と遊技球が通過する流路とによって振分手段によって次回振り分けられる領域を遊技者に予測させることができる。よって、遊技者の遊技に対する興趣を向上させることができるという効果がある。

技術的・思想3記載の遊技機によれば、技術的・思想2記載の遊技機の奏する効果に加え、第1流路、または第4流路を遊技球が通過した場合に振分手段が可変することが可変抑制手段によって抑制されるので、第1流路を通過したにも関わらず第2状態へと可変してしまい、ホールに不利益を生じさせてしまうことを抑制することができる。また、第4流路を遊技球が通過したにも関わらず第1状態へと可変してしまい、遊技者に不信感を抱かせてしまうことを抑制することができるという効果がある。

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】1157

【補正方法】変更

【補正の内容】

【1157】

10

パチンコ機(遊技機)

140

第2特定入賞口(入球手段)

501

時短入球口(第1領域)

5 0 2 , 5 0 3 , 5 0 4	確変入球口 (第 <u>2</u> 領域)
<u>7 3 1</u>	流路切替弁 (振分手段)
<u>7 3 2 a</u>	<u>手前側流路 (第 1 流路)</u>
<u>7 3 2 b</u>	<u>奥側流路 (第 2 流路)</u>
7 4 5 a	誘導通路 (複数の流路の一部、第 4 流路)
7 4 5 b	誘導通路 (複数の流路の一部、第 3 流路)
7 4 5 c	誘導通路 (複数の流路の一部、第 2 流路)
7 4 5 d	誘導通路 (複数の流路の一部、第 1 流路)
7 4 7 a	磁石 (可変抑制手段の一部)
7 4 7 b	磁石 (可変抑制手段の一部)
8 0 4	球止め部 (可変手段の一部)
8 0 5	球止め部 (可変手段の一部)
8 0 6 a	回転体支持軸 (可変手段の一部)
8 0 6 b	回転体支持軸 (可変手段の一部)
8 0 7 a	磁石 (可変抑制手段の一部)
8 0 7 b	磁石 (可変抑制手段の一部)
<u>S 4 6 0 6 , S 4 6 0 9</u>	<u>振分状態切替手段</u>